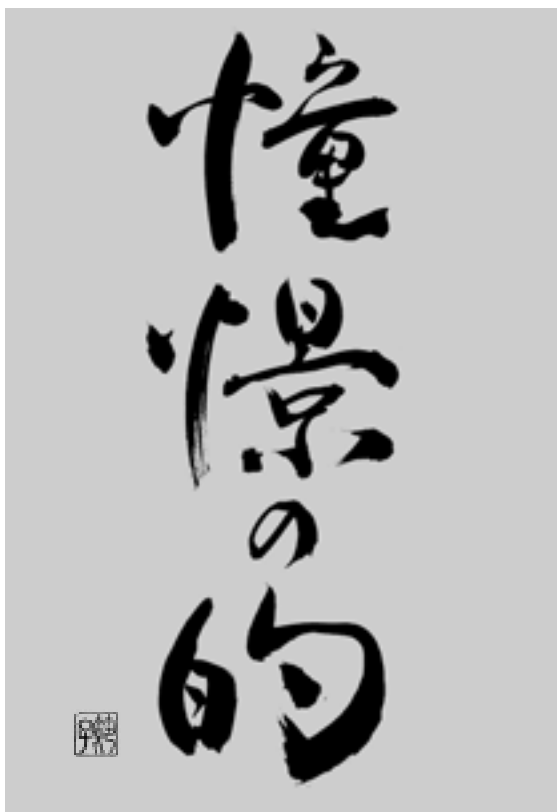


【今月の言葉】人を論ずかのように頭を垂れる稲穂、傍らで農家の恵みを天に報告するよう
赤い曼珠沙華の姿が喜ばしい。しかし名残夏はまだ真上にあり残暑が厳しい。この暑さ冷めぬ
うちに、利用者は「セ・リーグ優勝」した巨人のその後の試合を観戦するため東京ドームに向
かった。買ってきたお土産をみると、ドームの中の熱気、活気が分かった。利用者の旅行は
ご本人の希望で行われるが優勝観戦というタイムリーな旅行であった。【文／表紙 遠藤節子】



【絶対の基本理念】 最終目標であるホスピス建設に向け、新たな歩みを踏み出した私たちの絶対の基本理念として明文化し、支援の拠りどころと致します。

無私(私が、私のがの心のないこと)
愛(大切に作る心、思いやる心)
内省(深く自分をかえりみること)

10
月号

2009年10月15日発行
VOL.11 NO.10
(通巻108)

地域イベントに参加

TSK おりいぶ人



社会福祉法人 ^{あいとく} 愛篤福祉会・^{おりいぶ} 工房阿列布
〒973-8407 いわき市内郷宮町峰根 65-187
TEL.0246-36-3944 FAX.0246-36-3922
e-mail : olive-f@amber.plala.or.jp

千
草
群
像

親の罪

遠藤節子 (工房阿列布管理者)

「エチカの鏡」が話題に上り子育て論議が再び過熱してきた。戦後、ようやくテレビが普及し始めたころ、子どもたちはどのような環境で暮らし、どのような大人になったか、経済大国日本の礎を築いてきた人たちは、わが子だけは才能を開花すべく教育、習い事に物心両面の子育て応援をした。そその恩恵を受けて育った人は、どのような大人になったか、尚もわが子に一流大学を目指すべく尻に鞭打ち、1番足ろうとする格差社会を構築していった。結果、置き去りにされた教育は「挫折」「我慢」「挑戦」「許し」「創造」そして「道徳」、ただ、子どもに飽を与え続けた。

戦後、住みやすい社会を作ったか。経済一辺倒、子育て、暮らし方の反省に立っている。1994年からのバブルは幾度も山を越え、終焉を迎えている中、取り残された子供の教育。目指す方針がないまま、子育てする人に、「エチカのカヨ子 お

ばあちゃん」は「アホか!」「少しは工夫せい!」と画面で怒鳴る。昔の人は迫力あるなあと感心している。「単純」であればいいものを、欲を持ち、子を愛玩物と虚飾の世界に引きずって行く罪を、罪とは思わなんだ。時代の崩壊も一緒についてくる怖さも知らなんだ。想像できない、イメージする力の弱さが今の親にある。

わが子溺愛の羞恥心に未だ気づかず、モンスターペアレントと揶揄されても他人事。自分は違うと思っっている現代の親の姿にとり返しのつかない未来を見る思いだ。時代や誰かの所為にするのではなく、わが子は社会という大海に一人出て、多くの人と出会い、関係構築をし、自立する運命にあるとイメージし、子育てしないと社会の中で依存し続ける子になる。その兆しはすでにあり、「子」として育てられ、「人」として育てられてない親の罪を観る。

TSK
おりいぶ人
1部 ¥100
(会員は会費に含む)

毎月15日発行
編集者 〒973-8407 福島県いわき市内郷宮町峰根65-187
社会福祉法人愛篤福祉会 工房阿列布
発行所 〒981-0907
宮城県仙台市青葉区高松1-4-10
東北障害者団体定期刊行物協会

おりいぶ1号館 〒970-1151 いわき市好間町下好間字鬼越24-10 TEL.0246-36-3976・FAX.0246-36-3986
茶房おりいぶ 〒970-8026 いわき市平字中町7-2 TEL・FAX.0246-25-3977

おりいぶ後援会は、工房 阿列布を市民の立場から物心両面で支援するボランティア団体です。

野球観戦に 行ってきました。

十月二十五日に東京ドームに行ってきました。中々いわきでは観戦できないプロ野球の公式戦。しかも巨人戦。利用者さんはテレビで見ているスター選手のプレーを固唾を飲んで観戦し応援していました。

来年はいわきグリーンスタジアムで巨人戦が予定されているようです。今度は、地元で声の限り応援したいと思います。



せっけん事業に見学者

北海道の十勝より、阿列布のせっけん事業を視察するために、企業の社長さんが訪れました。

北海道で幅広く事業を展開している社長さんだけに、阿列布の方が逆に色々とお話を聞かせ頂いて、大変参考になる視察受け入れとなりました。

今回伺った意見を参考にさせて頂き、現在のせっけん事業の良い転機になるようにしていきたいと思えます。

地域のイベントに 参加しました



十月三日、四日の両日行われた内郷公民館祭りに出店させて頂きました。

一号館所属の二名の利用者さんとともにせっけんやパンなどの販売を行い、完売することが出来ました。ありがとうございました。

来場者の皆さまからも頑張った励まされながらの販売活動でしたが、地域の方にも阿列布の商品をPR出来たかと思えます。



子育て地蔵尊祭りに参加



毎年恒例となった峰根地区の「子育て地蔵尊祭り」に職員クラブの有志がボランティアとして参加、出店致しました。

今年は、焼き鳥とジュースのみの販売になりましたが、地元の方にも多少知られる存在になり、持っていった

平成21年度上半期 利用者発表会のご案内

今年度上半期の利用者発表会を、下記日程にて開催致します。利用者の皆さんの日頃感じていること。将来の夢などを是非、お聞きください。

日 時：平成21年11月14日(土)
午前10時30分から

場 所：報徳苑(内郷御蔵町)
参加費：2,000円(昼食代)
お問い合わせ 36-3944(岡田・斎藤)

チャリティーコンサート 合歡の瞬間

チケット好評発売中

お問い合わせ
☎(0246)
39-3944
(太田)

寄附者名簿 (物品寄附含む) 平成21年10月

太田幸夫様、フラワー花門様、草野定男様、
割烹一平様、金田静子様、比佐住江様、
日本ダウン症協会いわき支部様、園部様、
平養護学校様、小林誠子様、平澤真寿美様、
時安靖雄様、渡辺麻美様、遠藤陸子様、
遠藤淳子様、大谷武彦様、茂崎勝子様、
梶川正仁様、金田静子様、西山敬三様、
工房阿列布保護者会様、

この商品は完売することが出来ました。

この益金については「親亡きあとの施設」建設のための積立金として、法人に寄附されました。